



佐伯市では、人口減少や少子高齢化によって従来の「行政区」ごとの活動が困難になることが危惧されています。そのため、地域住民が自主的・主体的に地域課題に取り組むことができるよう、地区公民館や市振興局を単位とした地域コミュニティの再編が進められています。青山地域コミュニティ協議会(青山てらす)は、その一環として、佐伯市でも高齢化が進んだ青山地域において、令和5年3月に設立されました。

発足に際しての議論では、年配の方に遠慮して若者からの意見が出にくいといったこともあったようですが、若者が中心となって地域のイベントを開催するなど積極的な取組によって、徐々に地域に一体感が生まれ、現在では非常に良い関係となっているとのことでした。

懇談では、独自財源の確保策として、地域の特産である米を利用した焼酎や団子などの製品をご紹介いただくとともに、販売支援についてのご要望もお聞きしました。また、令和5年度末で閉校となった青山小学校について、能登半島地震においても課題となった「ペットと一緒に避難できる避難所や1.5次避難所」として活用できないかというご提案をいただきました。

協議会の皆さんから様々なアイデアをいただいたことに感謝を申し上げるとともに、今後とも青山地域を盛り上げていただきたいとお伝えしました。



## 関連分野における県の施策(令和7年度)

### ☆事業名: 持続可能な地域づくり推進事業

事業概要: 住民の希望を叶え、将来にわたり持続可能な地域づくりを実現するため、地域コミュニティ組織が行う地域課題の解決等に要する経費に対し市町村と連携して助成するほか、新たな組織の設立や再編・連携を支援

・高齢化集落等支援事業費補助金(補助率 県3/4以内、市町村1/5以上)

予算額: 1億1,454万円(うち高齢化集落等支援事業費補助金 7,800万円)

### ☆事業名: 【新】地域未来創造総合補助金

事業概要: 人口減少が進む中、魅力ある地域を未来へ継承するため、地域住民等が行う魅力ある地域づくりや特色ある取組を支援

予算額: 5億円

### ☆事業名: 【特】おおいた地域づくり活動支援事業

事業概要: 特色ある地域活性化の取組の担い手確保・持続的発展を図るため、市町村から推薦のあった地域づくりに活躍しているひとや団体を登録し、活動紹介や参加者募集を行う特設サイトを開設

予算額: 950万円

※【新】は令和7年度からの新規事業

【特】は本県の課題を解決し、新しいおおいたを創りあげる「新しいおおいた共創枠」